

Work2 理想の景観に近づけるために何ができるか考えよう！

前半で話し合った「もっとこうなってほしい」という身近な景観の理想について再度確認した上で、理想の景観に近づけるために必要と思う取組や対策のアイデア出し合いました。

★ 「理想の景観に近づけるための取組・対策の主なアイデア

環境改善 (ゴミ等)	意識・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミが落ちていたら各自が率先してゴミを拾う（大谷選手を見習う） ・自治会ごとに清掃活動を行う ・ゴミステーションをきれいに保つ（ついでのゴミ拾い、交代で清掃） ・ゴミが多い所に花のプランターを置く ・矢那川と一緒にきれいにしたい ・壁の落書きを消す
	制度	<ul style="list-style-type: none"> ・町をきれいにするための助成金を出す ・ゴミのポイ捨てに対する罰金制度を創設する（シンガポールのように）
修景活動		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家の室外機を修景する／壁や塀を修景する ・竹林整備と竹の活用：竹をプランターや室外機カバーに活用する／ゴミステーションを竹で作る、既存のゴミステーションを竹で修景
ベンチの設置		<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチを作り公園や店先等に設置する ・市民からの寄付で小櫃堰公園にベンチを設置、寄付者の名前を表示する
緑や花 による演出	自宅	<ul style="list-style-type: none"> ・庭をきれいに整えたい／せめて自宅の庭や玄関を花いっぱいにする ・各家の玄関先に季節に応じた花を植える・飾る
	地区	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会単位で同じ花で統一感を演出する ・地区ごとに同じ花や緑を植えて各地区の個性や統一感を演出する
	道路・公園等	<ul style="list-style-type: none"> ・道路や街路樹の足下に花を植える ・各地の公園を木や花できれいにする ・公民館で緑のカーテンを子どもたちと作る ・花による富士見通りの演出（花時計や絵に見えるような植え方の工夫等）
ボランティア	ノウハウ 共有等	<ul style="list-style-type: none"> ・土（肥料）の作り方を共有してほしい ・園芸の有識者にノウハウを聞きたい／ガーデニング講習会の開催 ・園芸愛好者が気軽に集まれる機会づくり（愛好者の集い） ・ガーデニングコンテストの開催
	体制	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の世話を複数人で分担する（花植え替え、雑草取り、水やり） ・高齢のお宅の庭の管理のお手伝い（仕組みづくり）
	資材等 サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・市から希望者に花の苗や肥料、プランターを配布する ・園芸用品貸し出しの仕組みや植物の種の配布があるとよい
	活動の場・ 機会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・雑草を処理してできた公共スペースを活用した地域のガーデニング園づくり ・富士見通り等を活用した市民参加による景観づくりモデル事業の実施
空き家・空き家の庭 の管理	活動への 参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾い活動をしている団体に参加する（NPO法人木更津イルカ計画等） ・花を植える活動をしている団体に参加する（いっせんぼく部会）
	仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「雑草を抜こうの会」を組織する ・企業等が行う環境活動等の公表と周辺住民の参加
景観まちづくりの 仕組み・体制づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・市による空き家のお庭管理の仕組みづくり（個人では勝手にできないため） ・空き家を活用して休憩や植物を植える場所にする ・空き家管理のボランティア組織づくり
		<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会等への景観づくりアドバイザーの派遣 ・まち歩きイベント等を定期的に開催して住民意識を高める ・地区ごとに景観まちづくり協議会のような住民組織をつくる